

# ご家庭で鳥類を飼っているみなさんへ

鳥類のインフルエンザは、「鳥インフルエンザ」と呼ばれ、このうちウイルス感染を受けた鳥類が死亡し、全身症状などの特に強い病原性を示すものがあり、ヒトのインフルエンザとは異なったウイルスです。これまで海外において鳥インフルエンザがヒトに感染した事例もありますが、これらは香港などのように生きたニワトリの小売が一般的な地域や、防疫業務に携わったヒトへの感染事例であり、病鳥と近距離で接触した場合や、それらの内臓や排泄物に接触するなどした場合です。

## 1 鳥類を病気にさせないようにしましょう！

- 飼育場所に入ったり、鳥類に触れる場合には手や衣服を清潔にしましょう。
- 野鳥と接触することのないようにしましょう。
- 1日1回は飼育場所を掃除しましょう。
- 防塵のためできるだけ水洗いしましょう（コンクリート床などの場合）。

## 2 インフルエンザに感染した鶏の症状

- 以下のような症状を示す場合があるので注意してください。
  - ・ 元気がなくなり、口をあけてゼーゼーというような呼吸器症状。
  - ・ 顔面、とさか又は脚部は出血斑が出たり紫色に変色したりします。
  - ・ 神経症状（首曲がり、歩行異常）や下痢。

\* 鳥どうしでは感染力が強いため、次々に感染します。



とさかの出血・壊死



脚部皮下の出血

(動物衛生研究所)

## 3 人が鳥インフルエンザの感染を予防するためには

- 飼育している鳥類等に接触した後は、手洗いとうがいを徹底してください。
- 体調に異変を感じることがあれば最寄りの医療機関を受診するか、または健康福祉事務所に相談して下さい。